

「母に着てほしいブラックフォーマルコンテスト」開催

東京ソワールと文化服装学院生が新提案

PHOTOS BY TSUKASA NAKAGAWA

ウィメンズフォーマルウエアを手掛ける東京ソワールは、文化服装学院と協力し、「母に着てほしいブラックフォーマルコンテスト」を行なった。文化服装学院生284人、合計732作品の応募があり、選考を重ねて優秀賞5作品を選出。グランプリ、準グランプリを決定し、5月23日、北青山のテピアで開催した2014年秋冬展示会で授賞式を行なった。今年、創立45周年を迎えた東京ソワールが次世代のフォーマルスタイルを提案するプロジェクトのひとつだ。



神尾あずさ
(服飾専攻科デザイン専攻)

リアルローズのコンテストは多いが、ブラックフォーマルウエアのコンテストは初めてです。ブラックフォーマルについて勉強するいい機会となり、20点も応募しました。母の意見も取り入れながら制作を進めたのは新鮮でした。

安立ゆい
(アパレルデザイン科3年)

母を思って作品を作ったのは初めてです。特別な気持ちがあった愛着があるデザインになりました。

松本美帆
(服飾専攻科技術専攻)

ジョクス サンドラ
(アパレルデザイン科3年)

田代実花
(アパレルデザイン科3年)

「フォーマル・カーネーション〜母に着てほしいブラックフォーマルコンテスト」は、若者の視点に着目し、自分の母に着てほしいブラックフォーマルウエアをテーマとしたデザインを文化服装学院生に募ったプロジェクト。その結果、284人の学院生が応募、732点という予想を上回る作品が集まった。昨年12月のオリエンテーションから始まり、デザイン画募集、プレゼンテーション、入賞作品の選出、サンプル制作、審査を経て、優秀賞の授賞式を迎えるまで約半年を費やした。東京ソワールにとって初めての取り組みだ。審査員長を務めた萩原富雄・東京ソワール会長は、「若者にとってフォーマルウエアは縁遠い存在だと思っていたが、

期待以上の高い関心を感じた。各作品はアイデアだけでなく、完成度も高かった」と一定の成果を示した。サンプル制作には、東京ソワールが実際に商品に採用している生地、付属品を提供し、学生からの質問に答える形で同社のデザイナー、パタンナーが作品の完成までアドバイスも行なった。学生を指導した相原幸子・文化服装学院服飾専門課程教授は、「フォーマルウエアのデザインコンテストは珍しい。ふだん使用できない高質な資材提供やプロから技術的なアドバイスを受けたことは、学生たちにとって貴重な経験となった」と技術教育、人材育成にも役立ったようだ。

また、同コンテストには、萩原会長、村越眞二社長、竹内信彦専務とともに、東京ソワールとライセンスブランドを手掛けるデザイナーのナカアキラと甲賀真理子が審査員に加わり、プロの厳しい評価を受けたことも大きい。ナカアキラは、「40代と50代では美しく見えるデザインが違う。プロ的な見地からすれば、その繊細な差にもっと注目すべき。クライアントのためのデザインがどれだけ考えられるかが大事だ」と講評。甲賀真理子は「新しいアイデアが物足りない気がする。女性が美しく見えるデザイン、パターンをもっと若者らしい発想で考えてほしい」と注文をつけた。

そもそも同コンテストは、45周年を迎えた東京ソワールが次世代のフォーマルウエアを考え、伝える目的

で、社内の各部署から若手の代表者が集まったワーキンググループの議論から生まれたアイデアだ。冠婚葬祭を中心とするフォーマルな場は人生にとって大切なものという同社の理念から、幅広い世代に向けたセミナーやワークショップなどフォーマル文化の啓発プログラムを外部団体と協力しながら積極的に実施している。5月10日は、特定非営利活動法人「放課後NP0アフタースクール」と協力し、「親子でマナーを楽しむファッション&マナー講座」を同社を会場に開催した。「当社は、45年間、フォーマル文化を築いてきた。今後もフォーマルウエア



5月19日、青山の東京ソワール本社で行なわれた最終審査には、デザイナーの甲賀真理子とナカアキラも審査員に加わった

への理解、装いのマナー、着こなしの可能性を様々な方法で幅広い世代にアプローチしていきたい」と萩原会長。新時代に向けたフォーマルライフの提案を続けていく。



上：5月23日、テピアで行なった授賞式で入賞した学生たちに「世界にはたくさん人材になってほしい」とエールを送る萩原富雄・東京ソワール会長
下：入賞者に賞状を授与する村越眞二同社長

Brand History

東京ソワールは今年創立45周年

1954年、児島絹子が東京・世田谷にオーダーメイドの高級婦人服店「ソワール洋装店」オープン。65年、東急百貨店東横店のプレタポルテコーナーを担当。初めて黒のドレスを売り場で発表。68年、東急百貨店各店のミセスコーナー担当。69年、株式会社東京ソワール設立。74年、取引店が全国69店舗に拡大。75年、浅丘リ子と契約し、TVCMを中心に宣伝開始。78年、本社を現在の東京都港区南青山に移転。88年、東京証券取引所第二部に上場。94年、児島絹子社長(当時)がパリ市名誉市民賞受賞。2010年、イオンレイクタウンに直営店「フォルムフォルマ」1号店オープン。13年、新社長に村越眞二就任、萩原富雄が社長を退任し会長に就任。主な取り扱いブランドは、「ランバン ノワール」「カルヴェン フォーマル」「ウンガロ ソワ」「ピエール・カルダン」「ミチコロンドン コシノ」「ハロックス」「インディヴィ」「マリココウガ フィルドレ」など。2013年12月期決算の売上高は180億6100万円。



新感覚のフォーマルショップ「フォルムフォルマ」のテラスモール湘南店。6月27日、13店舗目となるアルカキット錦糸町店がオープンする